

# 北海道

※2024年春実施の全国公立高校入試情報は、2023年12月1日現在によるものです。

## 1. 日程

[推薦選抜] [連携型 (一般を除く)]

○面接等

2/13

○内定通知

~2/20

○合格発表

3/18

[一般選抜]

●学力検査

3/5

○面接等

3/(5)・6

○合格発表

3/18

※追検査 3/13

## 2. 学力検査

[一般選抜]

国語：50分・100点

数学：50分・100点

英語：50分・100点

理科：50分・100点

社会：50分・100点

<500点満点>

※一部で傾斜配点を実施。→「備考」参照。

※北方領土に関する出題あり。

※実技を課す高校あり。→「備考」参照。

○英語聞き取りあり

## 3. 調査書

[評定の記載方法]

○1年…5段階 (絶対評価)

○2年…5段階 (絶対評価)

○3年…5段階 (絶対評価)

[調査書点の算出方法]

3年重視

(1・2年は2倍, 3年は3倍する)

1年：9教科×5段階×2倍＝90点  
2年：9教科×5段階×2倍＝90点  
3年：9教科×5段階×3倍＝135点  
<315点満点>

※調査書の名称は「個人調査書」

#### 4. 合否判定

[調査書と学力検査の比重]

定員の7割についてはほぼ同等。残りの3割については各学校の裁量による。

[判定方法]

個人調査書等の提出された書類，学力検査点，面接・実技等の結果(行った場合)を総合的に評価して，以下の方法で選抜する。

①調査書点と学力検査点を同等に扱い，定員の70%程度を選抜。

②調査書の内容等を重視して，定員の15%程度を選抜。

③学力検査点を重視して，定員の15%程度を選抜。

※学力検査で傾斜配点を行った場合は，500点満点に換算する。

※①を最初に行う。②と③の順序や，②・③における調査書の内容等と学力検査点の比重は，高校により異なる。

※②・③の選抜では，学力検査点を0.63倍し，315点満点に換算する。

#### 5. 推薦入学等

##### ■推薦選抜

普通科の一部と専門学科，総合学科で実施。

農・工・商・水産に関する学科で，志望する同一校・同一大学科内の他の学科を第2志望とすることができる。

自己推薦書を提出。

農・水産に関する学科を志望し，将来，自家経営に従事することを希望する者は，「農業(あるいは漁業)自営予定者説明書」を提出。

[検査内容]

面接・《英語の聞き取り，英語による問答，実技，作文》

[定員に対する比率]

○普通科…10～40%程度

○農業・水産に関する学科…50～90%程度

○その他の学科…30～50%程度

※面接を欠席した者，合格内定後入学確約書を提出しなかった者は，一般選抜での再出願を認めない。

##### ■連携型中高一貫教育校選抜

鷗川，上川，湧別，鹿追，広尾，羅臼，えりも

連携中学校を対象に行う。

[検査内容]

面接・《英語の聞き取り，英語による問答，作文，中高一貫教育による学習の発表》

[定員に対する比率]

#### 募集人員の範囲内

※連携中学校第3学年の在籍者数が募集人員を下回っている場合は、推薦選抜を実施できる(連携型選抜による合格内定者を減じた数のうち、10～40%程度)。さらに、連携型推薦選抜による合格内定者を減じた数を募集定員として、一般選抜を行う。

### 6. 備考

道立校の普通科は学区あり。普通科以外の学科は道内全域。

一般選抜で、多くの高校で面接を実施。

複数の学科を併置している高校では、第2志望・第3志望を希望できる。

体育に関する学科の出願者は、推薦選抜、一般選抜(第2志望の者を含む)ともに健康診断書を提出。

#### ※追検査

一般選抜で、出席停止が認められている感染症、またはやむを得ない事情により本検査をすべて受検できない者を対象に、追検査が実施される。

#### [学力検査の傾斜配点]

○滝川の理数科…国・数・英×1.5

○札幌北 …数・英×2

○札幌啓成の理数科…数・理・英×1.5

○札幌国際情報の国際文化科，市立札幌清田の普通科グローバルコース…英×2

○千歳の国際教養科，苫小牧南，函館商業の国際経済科…英×1.5

○旭川西の理数科，市立札幌旭丘の数理データサイエンス科…数・理×2，英×1.5

○釧路湖陵の理数科…数×2，理・英×1.5

○函館中部の理数科…数・理×2

○北見北斗の理数科…数×2，英×1.5

※合否判定時に、傾斜配点して合計した点数を、500点満点に換算する。

#### [一般選抜で実技を実施]

恵庭南の体育科，市立札幌平岸の普通科デザインアートコース